

京都市中央卸売市場第二市場再整備事業について

京都市中央卸売市場第二市場は、京都市とその周辺における食肉流通の要として大きな役割を果たしてきたが、開設後47年以上が経過し、施設の老朽化が著しく、耐震性能も十分でない。また、近年、「食の安全」の意識や「食育」への関心が高まり、更なる機能強化が求められている。

こうした状況を踏まえ、今後の第二市場の方向性を示すため、平成22年に「京ミートマーケット」マスタープランを策定し、施設の改築を重点戦略の一つとして掲げ、より「安全・安心・良質」な食肉を提供するとともに、海外輸出の推進や「食育」・「食文化」の学びの場となる施設とすることとして、平成27年9月から再整備工事を進めている。

1 新施設の基本コンセプト

(1) 安全で安心な食肉を提供する施設

- ・汚染防止を図るため、牛と豚の搬入口を分けるなど、作業エリアを完全に区画
- ・さび、カビの原因となる結露の防止対策に万全を期するため、最新の空調・除湿設備を導入
- ・各作業室を適正な温度で管理するコールドチェーンシステムの導入
- ・国際的に認められた品質・衛生管理方式であるHACCPの導入

(2) 京都ブランドを世界に発信する施設

- ・「安全・安心」、そしておいしい京都府内産の牛肉を中心に、アジア諸国や欧米などへも輸出できる認定を取得

(3) 環境に配慮した施設

- ・牛と豚を完全に建物内に取り込むことで、騒音や臭いの発生を抑制し、近隣の住環境に配慮した設計
- ・太陽光発電パネル、太陽光集熱パネルを設置し、再生エネルギーの利用を促進

(4) 市民などに開かれた施設

- ・市民や観光客などに開かれた施設とするため、見学者コース、セミナー室、調理・試食室を設置
- ・子どもたちの健康で豊かな食生活を育むための「食育」及びお肉に関する「食文化」についての学びの場

2 新施設の概要

	新施設	現施設	備考
敷地面積	約 22,500 m ²	約 29,400 m ²	余剰地面積約 6,900 m ²
延床面積	約 12,100 m ²	約 11,500 m ²	
建築面積	約 7,900 m ²	約 8,700 m ²	

※付属施設の面積を含む

現在、別棟に分かれている作業エリアと事務エリアを複層化することで、施設を集約化し、余剰地を創出

3 事業費

総事業費：約 100 億円

（内訳）国補助金：約 32 億円

市 債：約 63 億円

一般会計繰入金：約 5 億円

4 スケジュール

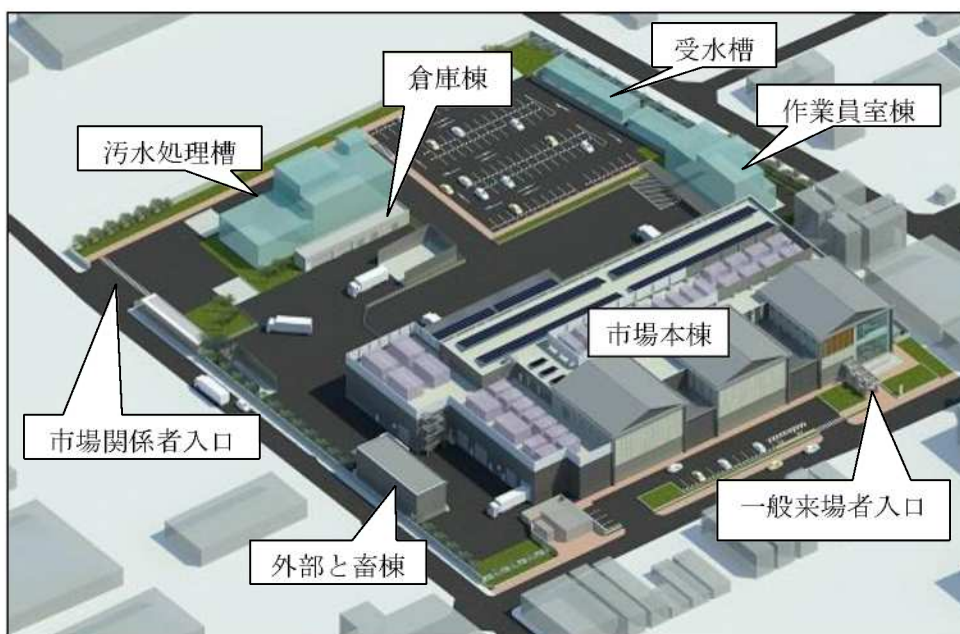
平成 27 年 3 月まで	実施設計
平成 27 年 9 月から	守衛所、受水槽等一部付帯施設建築
平成 28 年 2 月から	仮設管理事務所棟移転、既存管理事務所棟解体
平成 28 年 5 月から	市場本棟建築、外構工事等
平成 30 年 1 月頃	新施設試運転実施
平成 30 年 4 月頃	新施設操業予定
平成 31 年 3 月頃	全体工事完了予定

参 考

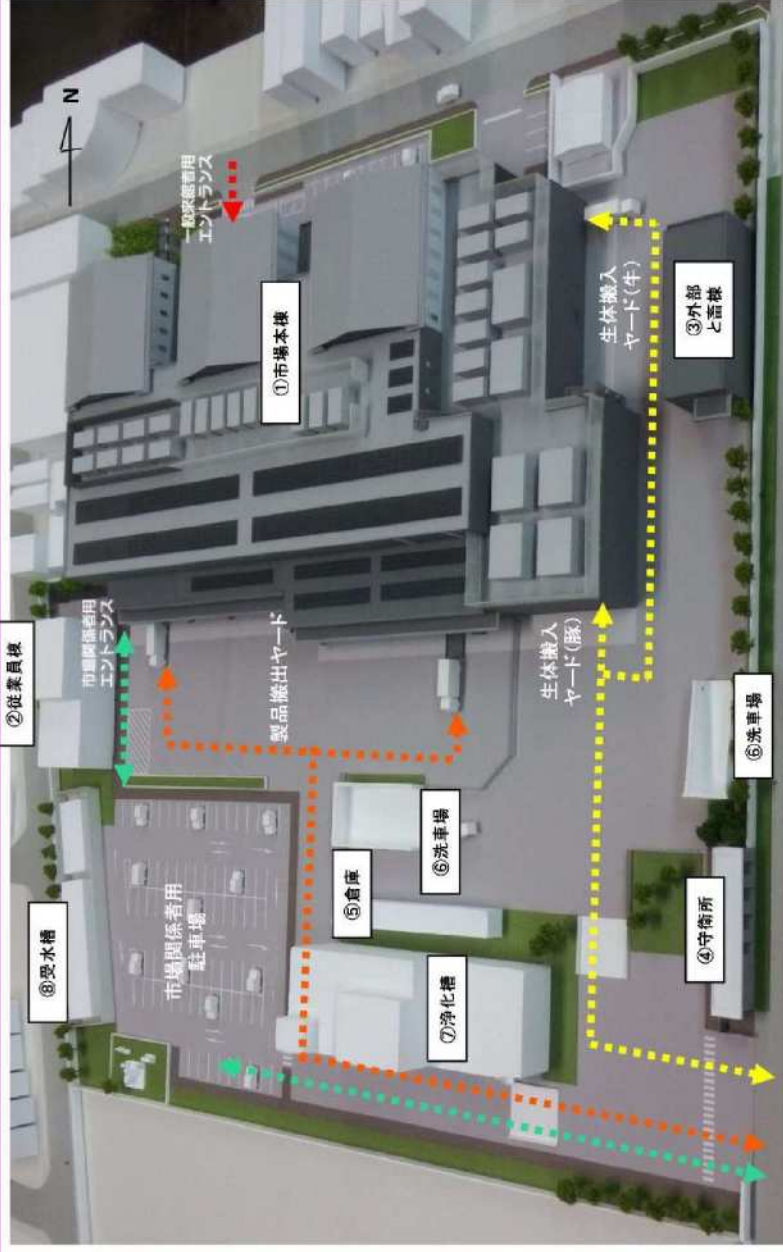
北側一般来場者エントランス付近イメージ図



北東上空からの鳥瞰図



建設計画



- 生体搬入車動線
- 製品搬出車動線
- 市場関係車動線
- 一般来館者動線

■建物の概要

ア 用途
イ 規模
ウ 建築面積: 合計約7,950㎡ (附属建物含む。)
エ 増築面積: 約7,630㎡
既存建物面積: 約320㎡
延べ面積: 合計約12,170㎡ (附属建物含む。)
増築面積: 約11,470㎡
既存建物面積: 約700㎡
ウ 建ぺい率 約35%
エ 容積率 約54%

■各建物の概要

①市場本棟 (新築)
ア 用途
イ 規模
ウ 構造
エ 階数・高さ
(階高 1階: 約7.5m, 2階: 約5.7m)
と畜場併設型卸売市場
建築面積: 約6,500㎡ 延べ面積: 約10,280㎡
鉄骨造 地上2階 高さ 17.4m
従業員厚生施設
建築面積: 約320㎡ 延べ面積: 約700㎡
鉄骨造 地上2階 高さ 約12m

③外部と畜棟 (新築)

ア 用途
イ 規模
ウ 構造
エ 階数・高さ
病畜棟
建築面積: 約195㎡ 延べ面積: 約204㎡
鉄骨造 平家建て 高さ 約8m
守衛室
建築面積: 約59㎡ 延べ面積: 約58㎡
鉄筋コンクリート造 平家建て 高さ 約3.8m
その他
⑤倉庫, ⑥洗車場, ⑦浄化槽, ⑧受水槽

④守衛室 (新築)

ア 用途
イ 規模
ウ 構造
エ 階数・高さ
守衛室
建築面積: 約59㎡ 延べ面積: 約58㎡
鉄筋コンクリート造 平家建て 高さ 約3.8m
その他
⑤倉庫, ⑥洗車場, ⑦浄化槽, ⑧受水槽